



2026年2月12日

各 位

会社名 加賀電子株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 門 良一  
(コード番号 : 8154 東証プライム)  
問合せ先 取締役 上席執行役員 石原 康広  
管理本部長  
TEL 03-5657-0111

## 2026年3月期 通期業績予想の修正（上方修正）および 配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年11月6日に公表しました2026年3月期通期連結業績予想を上方修正するとともに期末配当予想の増配修正を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

### 1. 業績予想の修正について

2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A） (2025年11月6日公表)	百万円 595,000	百万円 25,500	百万円 25,500	百万円 26,000	円 銭 524.78
今回修正予想（B）	620,000	27,000	28,000	28,500	575.24
増減額（B - A）	25,000	1,500	2,500	2,500	50.46
増減率	4.2%	5.9%	9.8%	9.6%	9.6%
（ご参考）前期実績 <sup>(注)</sup> (2025年3月期)	547,779	23,601	22,593	17,083	325.08

（注）当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前期実績の1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

### ＜修正の理由＞

本日付「2026年3月期 第3四半期決算短信」にて公表しましたとおり、当該連結会計期間における当社業績は、電子部品事業、情報機器事業を中心に社内計画に対して上振れ基調で順調に進捗しております。また、足元においては需給が逼迫する一部の半導体製品に関して調達に苦慮する顧客から想定外の引合いを多数受けております。

当期の連結業績予想につきましては、第3四半期における各事業部門での上振れおよび現時点で確定している想定外の受注等を総合的に勘案し、前回予想から売上高は250億円、営業利益は15億円、それぞれ上方修正しました。また、営業外損益では為替差損益等による10億円の好転、特別損益では政策保有株解消の取組みの一環として投資有価証券売却益6億円の計上などを新たに織り込んでおります。

## 2. 配当予想の修正について

2026年3月期 配当予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年8月7日公表)	円 錢 60.00 (普通配当 55.00) (特別配当 5.00)	円 錢 120.00 (普通配当 110.00) (特別配当 10.00)	円 錢 120.00 (普通配当 110.00) (特別配当 10.00)
今回修正予想		70.00 (普通配当 55.00) (特別配当 15.00)	130.00 (普通配当 110.00) (特別配当 20.00)
当期実績	60.00 (普通配当 55.00) (特別配当 5.00)		
(ご参考)前期実績 <sup>(注)</sup> (2025年3月期)	55.00	55.00	110.00

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前期実績の1株当たり中間配当金は110円ですが、上表においては前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

### <修正の理由>

当社は、2024年11月に策定しました「中期経営計画 2027(2025年度～2027年度)」において、財務規律を維持しつつ、創出キャッシュは成長投資および株主還元に積極的に配分する考え方のもと、株主還元の基本方針としては、「連結配当性向30%～40%ならびにDOE4.0%を目安に積極的かつ安定的な配当を実施し、自己株式の取得は利益水準や資本効率性に応じて機動的に行う」と定めました。

当期の配当予想につきましては、上記の方針および今回の連結業績予想の上方修正を総合的に検討し、期末配当金を前回予想の1株当たり60円に特別配当10円を積み増し、1株当たり70円に増配修正いたします。これにより、中間配当を加えた年間配当金は前期実績から20円増配の1株当たり130円となります。

### 【参考：その他の関連指標の修正】

	資本効率性	株主還元		
	ROE	連結配当性向	DOE	総還元性向
前回予想 (負ののれん発生益調整後)	15.0%	22.9% (31.6%)	3.9% (4.0%)	77.6%
今回修正予想 (負ののれん発生益調整後)	16.5%	22.6% (30.8%)	4.2% (4.3%)	72.4%
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	10.8%	33.8%	4.2%	33.8%
「中期経営計画 2027」目標 (2024年11月6日公表)	12.0%以上	30%～40%	4.0%	—

昨年7月に実施しました協栄産業株式会社普通株式に対する公開買付けによる同社の連結子会社化にともない、今回の連結業績予想には、負ののれん発生益約76億円が計上されています。上表には株主還元の諸指標を参考として記載しておりますが、キャッシュインをともなわない負ののれん発生益を除外した実質ベースでの利益修正を増配修正後の配当予想に反映させた再計算では、連結配当性向は30.8%、DOEは4.3%となります。また、昨年8月に実施しました自己株式の取得および消却（取得価額144億円、取得株式総数492万株）を勘案した総還元性向は72.4%となります。

※上記の予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上